# 言語活動の充実に関する実践事例

学校名（安芸高田市立美土里小学校）

① **教科等**　国語科　　② **学年**　第５学年
③ **単元名**　説明のしかたについて考えよう「天気を予想する」
④ **本時の目標**　筆者の説明のしかたについて，自分の考えを書くことができる。
⑤ **学習の流れ**（５時間目／全６時間）

| 学習活動 | 指導上の留意事項 | 評価規準〔観点〕（評価方法） |
|---|---|---|
| １　音読タイム | ・これまで学習した筆者の説明のしかたの工夫を意識しながら音読させる。 | |
| ２　めあてを確認する。 | 筆者の説明のしかたについて，自分の考えを書こう。<br>・掲示を見ながら，筆者の説明のしかたの工夫を振り返らせる。 | |
| ３　筆者の説明のしかたについて，自分の考えを書く。 | ・児童が考えをもちやすいように，ワークシートの様式を工夫する。<br>①筆者の主張（前時の学習）<br>②筆者の説明のしかたは，○点<br>③○点をつけた理由<br>・２つの観点に沿って考えるように促す。<br>①論の進め方，表現のしかたが分かりやすいか。<br>②表・グラフ・図・写真は効果的か。<br>・分かりにくいと考える児童には，もっと分かりやすくするためにどうしたらよいかという考えも書かせる。 | |
| ４　発表する。<br>・ペア交流<br>・全体交流 | ・座席表を活用して児童の考えを把握し，意図的に指名することで，考えを深めたり広げたりできるようにさせる。 | ・筆者の説明のしかたに点数をつけ，その理由を観点に沿って書いている。<br>〔読む能力〕<br>（ワークシート） |
| ５　本時のまとめと振り返りをする。 | ・次の単元で活用できそうな説明のしかたをおさえる。<br>・これから使ってみたい説明のしかたや友達の考えを聞いて納得した説明のしかたなどをノートに簡単に書かせる。 | |

【説明のわざ】※掲示
＊「問い」→「答え」
＊トピックセンテンス→くわしい説明
＊ナンバリング
＊話題提示とまとめのつながり
＊表・写真・図・グラフの活用
＊数値の効果　　＊題名のつけ方

（例）

☆筆者の説明のしかたについて，自分の考えを書こう。

筆者の説明のしかたは，ズバリ［　　］点。

【ポイント】
○論の進め方・表現のしかたは分かりやすいか。
○表・グラフ・図・写真は効果的か。

その理由は，

三つの問いを投げかけて、その答えを説明しているので、何の説明なのかがわかる。二つの理由と言っておいて，「二つは」「もう一つの理由は」と言っているのでわかりやすい。自分の考えの理由となる数値を、表やグラフにして見せているので、説得力がある。むずかしそうな言葉の近くに写真をのせているので、分かりやすくなっていると思う。

（例）

天気を予想する（　／　）名前（　　）

☆筆者の主張（二百字以内）

科学技術の進歩や国際的な協力の実現によって天気予報の精度は向上しているが、それを一つの有効な情報として活用し、自分でも天気に関する知識をもち、天気の変化を予想し次の行動を判断することが大切である。

〔言語活動の充実〕

**設定した言語活動を通して育てたい力**

- ○　**筆者の論の進め方，表現の工夫をとらえる。（思考力・判断力）**
- ○　**表・写真・図・グラフを使った文章の意図や効果を考える。（思考力・判断力）**
- ○　**筆者の説明のしかたの工夫について自分の考えを書く。（表現力）**

言語活動の充実のための指導の工夫

- ○　**単元全体を通して，「筆者の説明のしかた」に着目した学習を展開する。**
- ○　**習得した「説明のわざ」を次の単元「グラフや表を引用して書こう」で活用する。**